



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

**24日**

ドル円は107円台前半での小動きに終始。手掛かり材料を欠いたこともあり、終日方向感  
は出なかった。

**25日**

ドル円は月末を控えた本邦輸出勢からの売りに押された。米国・イランを巡る中東リスクが  
意識されたこともあり、一時は106.78円と1月3日以来の安値をつけた。もっとも、海外時間  
にはパウエルFRB議長などの発言を受けて米利下げ観測が後退したため、107.40円付近まで  
切り返した。

**26日**

米長期金利の上昇を手掛かりに、ドル円はアジア時間から買いが先行。ムニューシン米財  
務長官の発言を受けて米中通商協議に対する期待が高まったことも買いを誘い、一時  
107.85円まで値を上げた。

**27日**

一部香港紙が「米中は貿易戦争の一時的な休戦で合意した」と報じたことを好感し、ドル円  
はアジア時間に一時108.16円まで上昇。もっとも、中国外務省が報道を否定したこともあり、  
海外時間には伸び悩む場面が目立った。

**28日**

29日に米中首脳会談を控えていることもあり、積極的な売買は手控えられた。ドル円も狭  
いレンジ内での推移となっていたが、米株高を受けて107.94円まで上昇した。

**総括**

先週のドル円は下値が堅い。25日には米国とイランを巡る中東リスクが意識されたことで  
売りが進み、一時106.78円と1月3日以来の安値を更新した。もっとも、その後はパウエル  
FRB議長の発言で米利下げ観測が後退した影響から買い戻しが優勢に。翌26日以降も米中  
貿易協議の進展期待を手掛かりにした買いが入った。27日には一部香港紙が「米中は貿易  
戦争の一時的な休戦で合意した」と報じたことが材料視され、一時108.16円まで上昇。週末  
にかけては米中首脳会談が近づく中で様子見ムードが強まったものの、総じて底堅く推移し  
た。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
25日	23:00	火	USD	新築住宅販売件数	年率換算	5月	67.3万件	67.9万件	68.0万件	62.6万件
26日	11:00	水	NZD	RBNZ政策金利	*	*	1.50%		1.50%	1.50%
26日	21:30	水	USD	耐久財受注	前月比	5月	-2.1%	-2.8%	-0.1%	-1.3%
27日	21:30	木	USD	GDP確定値	前期比年率	1-3月期	3.1%		3.1%	3.1%
28日	18:00	金	EUR	HICP速報値	前年比	6月	1.2%		1.2%	1.2%
28日	21:30	金	CAD	GDP	前月比	4月	0.5%		0.1%	0.3%
28日	21:30	金	USD	PCEコアデフレーター	前月比	5月	0.2%		0.2%	0.2%

一言コメント・・・G20大阪サミットや米中首脳会談など重要なイベントを控えていたこともあって、経済指標への反応が鈍い1週間となりました。

## 先週の注目された要人発言

26日01:40 ブラード米セントルイス連銀総裁「50bpの利下げを実施する状況にはない」  
 26日02:02 パウエルFRB議長「FRBは情報を注視し適切に行動する」「金融政策は短期的なセンチメントの変動に過剰反応してはならない」  
 26日06:43 パーキン米リッチモンド連銀総裁「(今年の利下げ)必要か分からない」「FRB政策、依然として緩やかに緩和的」  
 26日11:00 RBNZ声明「時間の経過とともに金利の引き下げが必要となる可能性がある」「世界経済の見通しが低調で国内成長が抑制されるリスクを考慮」  
 26日18:09 ムニューシン米財務長官「米中通商交渉は90%完了」  
 26日21:27 トランプ米大統領「中国と合意できれば、相当な追加関税をかけるだろう」「米国は中国と合意する可能性がある」  
 27日17:15 ジョンソン英前外相(保守党党首候補)「議会在ブレグジットの期限を再延長するのは、かなりありえないことだろう」  
 28日00:26 クドローNEC委員長「マーケットはFRBに利下げを要求」「私はそのマーケットの金利見通しに賛成」  
 28日19:03 関係筋「ムニューシン米財務長官やライトハイザーUSTR代表と、劉鶴中国副首相が大阪で会談」

一言コメント・・・ブラード米セントルイス連銀総裁やパウエルFRB議長の発言を受けて、米金利先物相場では次回会合での0.50%の利下げ予想が後退。全般ドルを買い戻す動きが強まりました。ムニューシン米財務長官のインタビュー発言を受けて米中貿易交渉の進展期待が高まりました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
1日	23:00	月	USD	ISM製造業景況指数	*	6月	52.1		51.0
2日	13:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	1.25%		1.00%
3日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	6月	2.7万人		14.0万人
3日	23:00	水	USD	ISM非製造業指数	*	6月	56.9		56.0
5日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	6月	2.77万人		1.00万人
5日	21:30	金	USD	NFP	前月比	6月	7.5万人		16.3万人
5日	21:30	金	USD	平均時給	前月比	6月	0.2%		0.3%

今週の注目は・・・米雇用統計

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - エマージングアウトトラック

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。